

大きな愛情で日本人孤児を育てた中国に残る養父母へ

## 感謝の義援金募集 趣意書

(財)兵庫県海外同友会では日本人孤児への日本語教室の開催や就職の世話、生活相談コーナーの開設など、長年に渡って支援活動を続けてきましたが、戦後64年がたち、ここ数年は帰国する孤児たちはわずかとなっております。

永住帰国からの年数の少ない日本人孤児たちも高齢化が進んだ昨今では、長年の生活環境の違いや言葉の壁もあり、十分な生活支援も受けられず困窮な毎日を過ごされている方々も多くおられます。一方で中国におられる養父母たちはそれ以上に高齢化し、医療面や生活面で困窮な状況の人も多々おられます。そういった養父母へ生活支援もままならず、又亡くなられた養父母への墓参も叶わぬ日本人孤児たちも多いのが現状です。

養父母にとって正に時間的余裕がないことから、海外同友会の平成21年度の事業の柱として中国の養父母への生活支援募金活動を行なうことと致しました。なお、今回は日本人孤児たちの養父母墓参の為の一時帰国支援も対象と致します。

海外同友会では、中国の養父母及び中国政府に感謝の気持ちを表すため、平成2年から2年間にわたって、市長会、町村会はじめ当時の貝原俊民知事の全面的な協力を受け、県下100ヶ所の募金箱を設置、県民から約650万円の浄財を集めました。この義援金を元に北京市内に『養父母接待センター』が開設されました。この施設は養父母や、日本人孤児たちが日本訪問や里帰りの際の宿泊や渡航サービス等に利用されています。

このときの募金活動では県民一人当たり500円カンパを募りましたが、今回も皆様にカンパを御願いし、2年間の活動で1000万円の義援金を集めたいとしています。兵庫県下41市町に募金箱を設置し、同友会の役員はじめ、早急にボランティアの募集により、街頭募金活動なども積極的に展開してゆく決意です。

以上の本趣意書について県民の皆様の深いご理解とご支援の程御願い申し上げます。

平成21年10月吉日

財団法人 兵庫県海外同友会

理事長 霜下隆俊

11月5日(09年)、財団法人兵庫県海外同友会の理事・遠藤捷爾えんどうしやうじさんが事務所に来られいろいろと意見を交換した。同財団は、上記のように、中国養父母へ感謝の義援金募集活動を行っている。ご支援ご関心ある方は、以下の事務所にご連絡してください。

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番18号 兵庫県立福祉センター内2F  
財団法人 兵庫県海外同友会 TEL & FAX : 078-242-4622